

第 29 回健康医療ネットワークセミナー

日時： 2016 年 6 月 10 日（金） 18 時 30 分～20 時 30 分

場所： 東京大学医科学研究所 2 号館 2 階大講義室

<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/access/access/>

<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/access/campus/>

（キャンパスマップ 10 番の建物の 2 階です）

講師： 望月 吉彦（医療法人社団エミリオ森口芝浦スリーワンクリニック 院長）

会費： 1,000 円（NPO 健康医療開発機構会員、学生は無料）

※参加ご希望の方は健康医療開発機構事務局（sanka@tr-networks.org）までご連絡下さい。

【講演タイトル】 **女性 必見！『キズの治療で人生変わる！！』**

「湿潤治療」：きれいなキズの治し方（将来の心のキズまで治せる・・・）

【講演概要】

これまで、キズ（外傷、熱傷）の治療と言えば、「キズ口を消毒し、ガーゼを当てる」というのが主流でした。しかし、この方法では、痛みが生じ、キズの治りを遅らせ、更には最終的に肥厚性瘢痕（一般の方は「ケロイド」と言います）を生じさせることが多くあります。肥厚性瘢痕は、部位によっては機能障害を生じますし、人目に付く場所に出来ると着られる洋服が限られたり、水着になるのもためらわれたりします。単に身体の一部にキズを負うだけで無く、心にも二重に「キズを負う」とも言えます。

今回、お話しする「湿潤治療」は、外傷、熱傷などに「キズ口を消毒しない、キズ口を乾かさない」新しい治療法として注目されています。「痛くない」、「早く治る」、「傷痕がほとんど残らない」、「費用が、あまりかからない」、日本だけで受けられる治療です。旧来の「消毒してガーゼをあてる治療方法」と「湿潤治療」との違い、「湿潤治療」の歴史、優れている科学的根拠、これまでに実施した具体的な治療例を多数お目にかけて、皆さんに「湿潤治療」が優れた治療法であることをご紹介したいと思います。



治療 20 日後



顔のヤケドです。どうなったでしょうか？

注：患者さんの写真は、本人の了解を得て掲載しています

【講師プロフィール】

昭和 58 年 鳥取大学医学部卒業、昭和 60 年 東京慈恵会医科大学附属病院 心臓外科 助手、平成 12 年 獨協医科大学 外科学胸部 准教授、平成 16 年 同 教授、平成 20 年 足利赤十字病院 心臓血管外科部長、平成 27 年 医療法人社団エミリオ森口 理事長就任、芝浦スリーワンクリニック開設